

まある

No.238
 真庭市立久世
 図書館だより
<http://lib.city.maniwa.lg.jp>
 TEL.(0867)42-7203
 FAX.(0867)42-7204
 真庭市銅屋17-1
 〒719-3214

1月の行事

おはなし会 ほかほかえほんばこ(乳幼児向)
 13(月), 20(月), 27(月)
 11:00 ~ (6日はお休み)
 ☆13日童謡タイム, 27日子育てトーク開催

おはなし会 おはなし列車(園児・小学生向)
 11(土), 18(土), 25(土)
 11:00 ~ (4日はお休み)
 テーマ「人びと」

読んで楽しむ日本の古典(一般向)
 10(金)10:00 ~

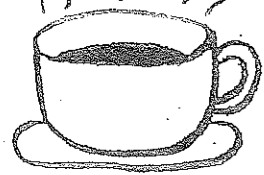
読書会(一般向)
 17(金)10:00 ~
 テーマ「ミシャエレエッセイ作品(モモ)」

音読して楽しむ「源氏物語」(一般向)
 24(金)10:00 ~
 テーマ「巻の巻 その上」

<予告>
 野村昌子さんとパルンアート体験(小学生以上)
 2月11日(火祝) 10:00 ~ 13:30 ~

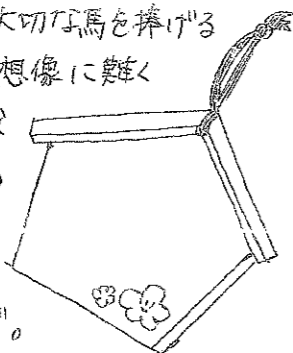


ちょっと(ひととき) どうして絵「馬」なのか?
 <一般書>日本の絶滅危惧知識(382頁)より



人々の切なる願いや煩惱をのせて境内に掲げられる絵馬。(中略)そもそもなぜ、願いを書いたりするあの板のことを絵馬というのか。それは、古くは絵馬ではなく本物の馬を奉納していたことに由来する。馬は昔から神さまの乗り物として神聖視される、縁起のいい動物。そこで人々は雨乞いや日照を望むときなどに、生きた馬そのものを捧げて祈ったという。特に白い馬は希少なため特別な祈願のときに用いられたのだとか。

稲作を中心とした昔の日本人にとって天候の良し悪しはまさに死活問題。とはいえ、大切な馬を捧げるのも相当な痛手だったことは想像に難くない。そのうちに、負担を軽減するため土や木などで作った馬の代替品を納めるようになりさらに板に馬を描いた今日の形へと変わっていったというわけだ。



1月

日	月	火	水	木	金	土
			①	②	③	4
5	6	7	⑧	9	10	11
12	13	14	⑮	16	17	18
19	20	21	⑳	23	24	25
26	27	28	㉑	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	⑤	6	7	8
9	10	11	⑫	13	14	15
16	17	18	⑰	20	21	22
23	24	25	㉒	27	28	

※○印は休館日です。

休館日 …… 毎週水曜日、年給休(11-3)
 開館時間 …… 9:00 ~ 18:00

あけましておめでとございます

昨年は鈴木のリタけさんの「大ピンチずかん」や柴田ケイコさん「パンどろぼう」など絵本が話題となりましたね。森永卓郎さんの本も予約がたくさん入りました。今年はどうして本と出会えるでしょうか。今年も久世図書館職員、皆様に本がスムーズにお届けできるよう頑張りますので、どりぞよろしくお願ひします。

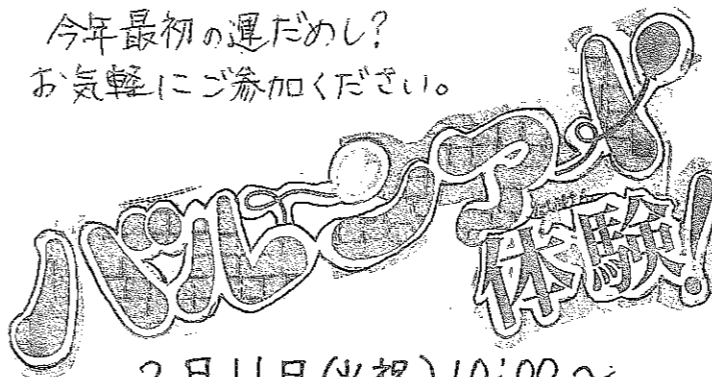
真庭市立図書館全館イベント

新春運だめし

ブックじ

1月11日(土) 9:00 ~

今年最初の運だめし?
 お気軽にご参加ください。



2月11日(火祝) 10:00 ~ 13:30 ~

申込受付 1月18日(土) 9:00 ~

お待たせしました!今年も野村昌子さんにお越しいただき開催します。人気企画なのでお早目にお申込ください。

1月のキラキラ特集
 キラキラするもの集めまじりの本紹介

<一般書>

- ダイヤモンド・ジュエリー(755頁)
- AURORA(748頁)
- オートクチュールのビーズ・スパンコール刺繍(594.2頁)
- はじめての手作り石華鏡(759頁)
- 美しい世界をめぐる旅(290頁)
- パワーストーン実践BOOK(147頁)
- ほし☆みつきのキラキラあみぐるみ(594.3頁)
- 写真でたどる美しいドレス図鑑(383頁)
- 天空のレジンアクセサリー(751頁)
- 美しい和のガラス(751頁)

<児童書>

- おしゃホルム(597頁)
- きらきら(E頁)
- ふゆとみずのまほうこおり(451頁)
- キキムラのお星さまずかん(443頁)
- もりのほうせきかんきん(473頁)
- かみなり(451頁)
- ちいさなちいさなほうせきのもり(E頁)
- 宝石のひみつ図鑑(459頁)
- しもふしら(451頁)
- かがやく昆虫のひみつ(486頁)

<雑誌>

- こどものとも 2022年12月号 ゆきのT=んし「ゆび」
- たくさんのふしぎ 2008年6月号 カーニバルがやってきた!

美術 2025年1月号

新しい年が始まりました。今年もキラキラと輝いて、バモはずんで参りましょう。